

歴史考古博物館
高原ミュージアム



川之江町 2217-83 ☎ 28-6260
(月曜休館)

四国中央市歴史考古博物館

発掘調査速報展 2023

10/24(火) ~ 1/7(日)

10/28 SAT 10:00 ~ 11:00
12/16 SAT 展示解説会 (予約優先)
(ギャラリートーク)

10/28 SAT 11:00 ~ 12:00
11/18 SAT 発掘調査現場へ
テレポート!? (VR 体験会) (予約優先)

12/16 SAT ※体験時間は一人 10 分程度の予定です
※VR 機器の対象年齢にご注意ください

11/11 SAT 10:00 ~ 12:00 要予約
発掘調査された遺跡めぐり
「今そこにはない」遺跡をめぐる

11/18 SAT 10:00 ~ 11:00 予約優先
鑄造体験×銅鐸発掘ごほれ話
発掘調査担当者が当時を語る

11/25 SAT 10:00 ~ 11:30 予約優先
土器洗い体験
ホンモノの土器にふれる体験

12/ 2 SAT 11:00 ~ 12:00 予約優先
発掘調査報告会 1

遺跡は地下に眠る - 近年の発掘調査成果 -
市教育委員会 学芸員 中 勇樹

12/ 9 SAT 10:00 ~ 11:00 予約優先
発掘調査報告会 2

遺跡を三次元で記録する - 新たな発掘調査の記録 GIS・SfM -
市教育委員会 学芸員 中 勇樹

12/ 9 SAT 11:00 ~ 12:00 予約優先
記念講演会

上分西遺跡の調査成果と弥生時代における海人の軌跡
愛媛大学埋蔵文化財調査室 柴田昌児 教授

12/23 SAT 10:00 ~ 12:00 予約優先
おやこでレッツ! 考古学
博物館で「たからさがし」

詳しくは
ホームページに掲載



文化・スポーツ振興課
28-6043

宝蔵寺跡
官衙倉庫群
(金生町下分)



遺跡はあしもとにある
Ancient Site Exist "Our" UnderGround.

下分馬木遺跡
水田跡
(金生町下分)



金付面遺跡
縄文土器
(土居町津根)



「遺跡」という言葉から
何を思い浮かべるでしょうか。

それは、どこか遠い異世界のこのように思う
かも知れませんが、発掘調査では、遺跡は思い
のほか身近な所から見つかります。

世界最古の木造建築である法隆寺に代表される
ように、日本は「木」の文化といわれます。木
は時間の経過とともに形を失い、土に還ること
から、「石」の文化であるヨーロッパの石造物
のように、建物跡がそのまま見つかることは、
ほとんどありません。

妙な表現ですが、日本の発掘調査では、「土」
の中に埋まった「土」を探すこととなります。
例えば、建物の柱穴や竪穴住居跡などは、「土
の色の違い」として認識されます。この違いを
見極めながら掘り下げること、土器などの遺
物は昔の状況のままで見えます。

上分西遺跡
上分銅鐸
(上分町)

上分西遺跡(上分町)から出土した愛媛県唯一
の銅鐸「上分銅鐸」は、耕作土直下の柱穴を
わずか 3cm 程掘り下げた所から出土しました。
また、宝蔵寺跡(金生町下分)の官衙倉庫群や
下分馬木遺跡(金生町下分)の古代水田跡など、
「土」の中から「土」を探す営みが、一つひとつ、
歴史の 1 ページをよみがえらせてきました。
四国中央市発足 20 年。その間にも多くの遺跡
が発見され、発掘されてきました。

そして、「遺跡」は今も私たちの「あしもと」
に眠っています。

※官衙…官庁・役所のこと